

# 診療現場における 画像鮮明化テクノロジーの 活用最前線

— 見逃し/見落とし低減ツール、  
コミュニケーションツールとして —

日時：2024年4月20日(土) 11:50～12:50

会場：第9会場(東京国際フォーラム G701)

共催：第128回日本眼科学会総会

千寿製薬株式会社

本総会のランチョンセミナーは整理券制です。  
配布場所：東京国際フォーラム 地下1F ロビーギャラリー  
配布日時：4月20日(土) 7:15～11:20

画像/映像は、眼科の診療、教育、研究の現場において必須なもののですが、その重要性はますます増えています。画像鮮明化テクノロジーは、セキュリティ、インフラストラクチャーの分野で産業用として発達してきましたが、ロジック・アンド・デザイン社の技術革新によって、医療の分野でも“MIEr テクノロジー(医療用画像鮮明化テクノロジー)”として近年、大きな発展を遂げてきています。本技術は、画像/映像のオリジナリティを保持したまま、独自の処理によって目的の所見を鮮明化するもので、医療現場で求められる『見える化』を実現する技術と言えます。本技術を用いれば、見える部分と見えない部分が混在する画像/映像が『見える化』され、これまで、「硝子体や涙道の内視鏡手術(MIEr-2D)」「硝子体/白内障手術(MIEr-3D)」「クラウド環境(MIEr-CIS)」「PCインストールソフト(Soft-MIEr)」「画像ファイリング用インストールソフト(MIEr for Claiο)」「診察室用リアルタイム小型画像鮮明化装置(スマートMIEr)」として実装され、さまざまな臨床現場のニーズに応えてきています。特記すべきは、本技術を通して画像/映像が『見える化』されることで病変の見逃しや見落としが低減すること、および患者さんに説得力のある説明ができるようになることです。まさに、診療の向上を期待させてくれる技術と言えるでしょう。そこで、今回、みなさんに本セミナーにご参加いただき、各先生方の『見える化』の体験を共有させていただくことで、今後の診療のお役に立つ機会になればと思います。

座長：横井 則彦 先生 / 京都府立医科大学



## 演者



### 当院における診察時の 画像鮮明化装置の活用方法

荒井 宏幸 先生 / クイーンズ・アイクリニック



### アップデートされた 画像鮮明化ソフトウェアの評価と実用性

下分 章裕 先生 / しもわけ眼科



### 画像鮮明化ソフトウェアを活用した 初期病変の診断

藤田 善史 先生 / 藤田眼科

“見える”の向こうにあるものを。

SENJU

千寿製薬株式会社 医療機器事業部

〒541-0048 大阪市中央区瓦町三丁目1番9号

TEL: 06-7178-2999